

# こうのとり通信

～兵庫県助産師会だより～

一般社団法人 兵庫県助産師会

第9号(21) 平成29年3月31日発行

(発行部数 400部)

発行責任者 岸本 喜代子

編集責任者 谷川 裕子

神戸市中央区下山手通5丁目8-14

山手グヤハツ305号

TEL: 078-362-1310

(月～金) 10:00～16:00

FAX: 078-362-2737 (24時間)

Email: info@hyogo-josanshikai.com

HP: http://hyogo-josanshikai.com/

## ごあいさつ

副会長 毛利 多恵子

今回の【こうのとり通信】より、理事全員からリレーにより、順次、皆様にご挨拶と事業報告をさせて頂くことになりました。紙面上からのご挨拶になりますが、よろしく願いいたします。

さて、平成28年度における大きな事業としては、昨年12月の新事務所への移転があります。ビル3階にあり、南側と西側の2面には天井までの大きな出窓があります。太陽の光が燦燦と入り、天気の良い日には窓一面に青空が広がる気持ちのよい空間です。道路から事務所の場所がよく分かるように、皆様を選んで頂いた本会のロゴマークを目印に、出窓に貼付して存在をアピールする予定です。ロゴマークは既に、皆様にご送付する封筒などに使ってお届けしています。

また、平成28年度は、本会にとって大きな変化の年でした。5月の定時社員総会では、改定された定款と役員選挙管理規程に基づく役員選挙が行われ、理事10名と監事2名が選任されました(写真)。従来の委任状だけでなく書面による議決権の行使をされる会員の方も多くなり、会員数は平成29年2月時点で352名です。大勢の会員を担う本会としての責任を全うすることから、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(法人法、平成23年)にもとづく運営ができるよう、理事、監事の役割を果たす以外に、司法書士、法人指導機関、弁護士、及び会計士等、法律の専門家等のご指導・助言も受けながらすすめております。そのため、従来の規程の再度見直しも行っています。来年度の事業計画案や予算案を作成し、次回定時社員総会で審議をする準備をしております。これらの作業に携わっておられるそれぞれの委員会の皆様には、大変お世話になっています。

なお、差出人不明ハガキの調査は、個人情報を守る体制を盤石なものにするため実施させて頂きました。多くの会員の皆様から「会としての対策の要望」「個人情報の取り扱い」「不愉快な気持ち」「同じ会員として残念」など多様なご意見を頂きましたが、前向きなご意見も多く、皆様のご理解に感謝致します。調査結果は、総会において報告させていただく予定です。

次回定時社員総会への皆様のご参加を、理事、監事一同、心からお待ちしております。本年度もよろしくお願い申し上げます。



嶋澤理事 藤井理事 鈴木副会長 郷原監事 高田監事 坂田理事  
加須屋理事 小河原理事 小坂理事 岸本会長 立山理事 毛利副会長

# 理事会だより

## 新事務所移転のご報告

新事務所移転事業計画委員会

担当理事 鈴木 江三子

平成 27 年 5 月 16 日(土) 定時社員総会において新事務所移転について可決されました。それ以降、本会の年齢構成を勘案し、公共交通機関のアクセスが良い利便性の高い新事務所となるよう、元町・花隈・三宮周辺の沿線近隣にある物件の見学を重ねて、候補地を探してきました。また、同時期に新事務所物件の資金を確保するため、旧事務所の売却に向けての交渉や見学者への対応を重ねてきました(詳細な経過は、平成 28 年 12 月 3 日(土)臨時社員総会報告資料の通りです)。

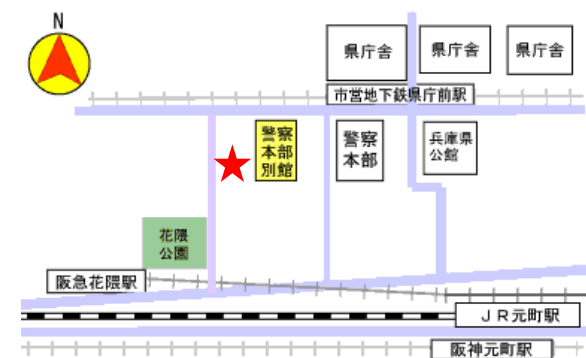
その結果、皆様のご理解ご協力を得て、平成 28 年 12 月吉日に、旧事務所の近隣に新事務所を構えることになりました。新事務所は、県庁など公共施設も近く、地下鉄県庁前から数分と至便な地にあり、日当たりも良く、エレベーターも設置されています。

新事務所で、これまで以上に会員相互の親睦を図り、母子保健推進のため、専門的学術の水準の維持・改善・向上に努めてまいりましょう。

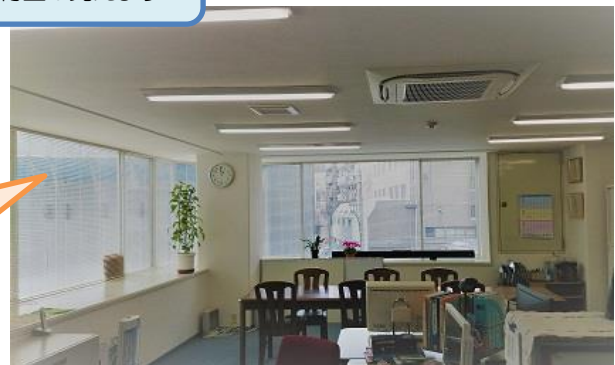
場 所 : 神戸市中央区下山手通 5 丁目 8-14  
山手ダイヤハイツ 305 号



南西向きで  
太陽の光が  
燦々と入ります



2 面の出窓から  
青空が見えます



**新事務所購入負担金の振り込みがお済みでない方は、3 月末までの振り込みをお願いいたします。**

### 新事務所購入負担金の振込先

郵便振込 □座番号 : 00990-9-275875  
加入者名 一般社団法人兵庫県助産師会  
金 額 ー□ 10,000 円 (ー□以上)

~2 月末日までの振込状況~  
1,611,000 円 (132 名)

## 平成 28 年度文化祭報告

庶務担当理事 藤井 ひろみ

兵庫県助産師会恒例の「文化祭」を、今年度も11月3日にラッセホールにて開催しました。文化の日に、助産師会主催の文化祭を開くのは全国でも珍しく、毎年日本助産師会から会長にも来ていただき、小さいながらも華のあるそして温かな、助産師の交流の場となっています。

今年度の表彰者は5名おられ、廣川卷子さんが代表でご挨拶されました。定年後に改めて知った助産師の仕事の奥深さを語られる姿に、会場の一同みな大いに心を動かされ、涙する姿も見受けられました。来賓の皆様からはお言葉をいただき、助産師会への大きな期待と、母子を共に見守っていきましょうという情熱を感じさせていただきました。今年度末で会長職を離れられる日本助産師会・岡本会長には、いつまでも聞いていたくなるような、助産の原点を示してくださる講演内容に今年もまた元気をいただきました。

後半の懇親会では美味しい食事共に、助産師学生さんたちのダンス、落語の余興なども楽しみました。ゲストも助産師もみんなが笑顔になった一日でした。この日のために文化祭準備メンバーとして支えてくださった西村明子・渡海雅子・谷口真紀・谷川裕子諸姉に感謝申し上げます。

次年度も行いますので、皆様引き続き、あるいは初めての方も、どうぞご参加ください。



アマチュア落語家 人丸亭大娯さんによる落語



日本助産師会会長 岡本喜代子氏による講演  
～「助産力」と「子宮力」～



助産師学生さんのダンスで  
みんな一緒にノリノリ!



# 部会だより

## 〈助産所部会〉

助産所部会長 加須屋 淳江

今年度の安全対策評価が無事終わりました。ご協力ありがとうございました。連携病院の確認、ケア、設備、保険、研修、救急時対応、救急薬品の整備など、多岐に渡り他者評価を受け、原点にかえる思いです。各助産所では、残された課題を検討し、更によりよく信頼されるケアが行えるように頑張っています。

包括的指示を受けた助産所では、アルゴ聴覚検査（ABBR）機による新生児聴覚検査が、助産所入院中に検査できるようになりました。今後は、100%実施を目指していきます。また、産後ケア入院も増えてきており、産後ケア事業推進委員会を中心にシステムが整備されつつあります。より良い温かなケアの提供を目指していきましょう。

## 〈保健指導部会〉

保健指導部会長 坂田 富貴子

今年度は、保健指導活動の充実をはかるために助産師の部会内研修と研修会の伝達講習をしました。また、会員の活動調査を実施し、対象者 94 名中約 60%の回答を得ることができました。結果は、平成 29 年度の定時社員総会で公表する予定です。この調査は、部会員の活動実態やお声を聞かせていただく良い機会となりました。今後の部会活動に繋げていきたいと考えています。

兵庫県子育て・女性健康支援センターの事業へも保健指導部会の会員が多く携わっていただいています。個人の仕事をもちながら事業参画していただいている事に感謝します。

妊娠出産包括支援事業一切れ目のない支援と産後ケアでは、地域での支援強化体制が問われる昨今です。市町村によって取り組みが異なると思いますが、先輩開業助産師から受け継いでいる助産師ならではのケアを提供し、地域で妊娠出産子育て中の母親と家族のニーズにあった支援ができればと思います。それには助産師のマンパワーと連携が期待されます。

災害等の早期対応や部会員への連絡のため、メーリングリスト(ML)を作成しました。ML 未登録の方、特に開設届を出されている方は、是非ともこの機会に登録していただきますようお願いいたします。

## 〈勤務助産師部会〉

勤務助産師部会長 高田 昌代

勤務助産師部会では、日本助産師会や兵庫県、各自治体から制度の変更や研修案内など助産師に関連する多くの新しい情報や、研修等の情報も勤務表の希望に間に合うタイミングでお渡ししたいと思っています。また、最近の情報は、電子化されていることが多いこと、周産期にまつわる動きは目覚ましいことなどから、タイムリーに情報発信できる勤務助産師部会専用の「情報発信用メーリングリスト」を作りたいと考え、12月にピンクの用紙で「メーリングリスト登録のお願い」をお送りしています。災害時には、助産師は専門職の支援者として医療機関や地域での活動が期待されます。その際にも必要な情報発信にもなります。妊産婦さんや赤ちゃんに良い助産ケアを提供するために、情報を受け取ることができるメーリングリストへの登録をお願いします。

### 勤務部会メーリングリスト登録方法

メーリングリストに登録するアドレス（パソコン、携帯など）から、「件名」に「メーリングリスト登録」とお書きいただき、ご自身の名前を入力し、兵庫県助産師会アドレス（info@hyogo-josanshikai.com）に、メールを送信してください。

➤登録するアドレスは、添付資料が確認できるものをお願いします。

# 委員会だより

## 〈教育委員会〉

委員長 谷口 真紀

助産師の能力向上と継続的な研鑽を目的として企画している「助産師のちからアップ研修」は平成 19 年から 4 年間続いたあと一時休止していましたが、その後平成 25 年に再開し、今年度で 4 年目を迎えました。

「助産師のちからアップ研修」では毎年、助産師自身のスキルアップはもちろん、院内助産や地域での開業準備を視野に入れた内容として、即実践できること、且つ魅力的な講師陣であることをモットーに教育研修を計画しており、今年度もたくさんの参加がありました。10 研修を計画し、全コースの参加者は 4 名と、単発コースの参加者と合わせても、どの研修も県内、県外含め多くの方が参加してくださいました。

昨年度に引き続き、兵庫県より「助産師資質向上研修支援事業」として助成を受けています。会員の皆様に多く還元できるように、参加補助券の発行、講師陣の選定、研修教材の購入などに活用させていただいています。

また、今年度は JICA 研修でモンゴルから来日されている助産師と産科医師の計 10 名が姫路開催の C T G 研修を見学されるということもありました。なお、平成 28 年度の研修報告はホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

平成 29 年度の研修計画も現在作成中です。来年度も助産師のスキルアップにつながるような興味深い研修内容を準備していきたいと思っております。研修ちらしは 4 月以降にお届け予定ですが、当会のホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。多くの皆様の受講を心よりお待ちしております。



モンゴルの研修生からの贈答品



平成 28 年度「助産師のちからアップ研修」  
全コース修了式の様子



仁志田先生からの寄贈図書

### ～平成 28 年度「助産師のちからアップ研修」 全コース受講生の声～

- いろんな分野の先生に講義していただいたので、様々な視点をもてた。これが、「ちからアップ」だと感じた。
- 最初、実践面のほうを考えていたが、研修では知識を得られた。
- ステップアップのために、今後も学んでいきたい。ちからアップではいろんな方面のことを聞けた。



## 〈産後ケア事業推進委員会〉

委員長 稲生 佐枝子

兵庫県内では産後ケア事業を実施する自治体が少しずつ増え始めています。開業助産師に委託している自治体が多いのですが、開業助産師がない、又は少ない自治体があり、病院で宿泊型・通所型を実施している自治体もあります。3月3日の研修会では兵庫県と神戸市の産後ケアの概要について、担当の方にご講演いただきました。また、会員が行っている産後ケアの実態調査結果の報告をしました。平成29年度定時社員総会でも、研修会の様子や実態調査結果をお伝えする予定です。今後も産後ケア事業の推進のために会員の皆様のご協力をお願いいたします。

## 〈兵庫県子育て・女性健康支援センター運営委員会〉

委員長 國廣 晴美

子育て・女性健康支援センターでは、事業の円滑な運営と事業内容の充実を目指して活動してきました。

今年度センターが運営する8事業の開催日数は430日、利用者は1200名（12月末現在）を超え、ほとんどの事業でリピーターを含む利用者が増加しています。これは会員の皆様のご協力により、兵庫県子育て・女性健康支援センターの活動が安定して運営できている結果だと思えます。

来年度は利用される方がより満足して利用していただけるよう、事業内容の充実を目標に活動していきたいと考えています。

今後も安定してよりよい事業を継続するために、事業を担当していただける会員の方を募集しています。子育て女性健康支援センターの活動は、会員の皆様にとっては普段の助産師活動の場とは違う場所・対象の方への活動の機会となり、助産師としての経験や視野が広がります。また、様々な地域や場所で活動している助産師の新しい仲間との意見交換の場にもなります。多くの会員の皆様にご協力いただきますようお願い申し上げます。

各事業への見学や担当をご希望の方は同封しております人材登録票へご記入いただき、助産師会事務所へ FAX でご連絡ください。



～『お母さんと赤ちゃんのふれあい広場』の様子～

事務所移転に伴い会場が変更になりました（1/12 コミスタ神戸にて）

## 〈表彰委員会〉

担当理事 立山 サナミ

日頃の助産師活動の業績が認められ、平成 28 年度は下記 5 名の方が表彰されました。

5 名の方には、11 月 3 日の文化祭で花束（欠席者にはプリザーブドフラワー）を贈呈いたしました。

### 表彰者の皆様

兵庫県健康財団会長賞：井垣 享子様

日本助産師会 会長表彰：永原 郁子様、廣川 卷子様、本田 利江子様

兵庫県看護功績賞：秋山 敦子様



### 表彰者代表謝辞（平成 28 年 11 月 3 日文化祭において）

廣川 卷子

今日は、受賞に対して会からのお祝いまで頂き本当にありがとうございます。表彰者を代表して謝辞を述べさせていただきます。

2 年前に県立尼崎病院（現尼崎総合医療センター）を 36 年間勤務して定年退職しました。助産師会入会後は、いろんな研修会に参加し多くを学びました。勤務助産師部会委員・建設委員などの活動もしました。退職後は、92 歳の義父が一人暮らしで介護申請後、昨年 1 月に自宅で転倒し要介護 5 になり入院生活です。危篤状態を繰り返し、脳外科や精神科へ転院搬送も繰り返し入院中です。パーキンソン病・慢性硬膜下水腫・誤嚥性肺炎を併発するも、自分の歯を磨けるまで回復してきました。調理師である義父の食生活は、自分で作った野菜を調理し、栄養面も考慮し、良く噛んで食べていました。本当に必死で生きようと頑張る姿に感銘しています。

昨年より、西宮市助産師会の副会長に就任して、立山会長ほか会員に助けて頂き、西宮市事業の新生児訪問・西宮市医療連盟の構成メンバーである助産師会担当のさくら FM 放送も担っています。本当にありがとうございました。



表彰者代表でスピーチする廣川氏



～表彰式出席のお二人～

廣川 卷子氏 永原 郁子氏



表彰式欠席者に贈られた  
プリザーブドフラワー



## 名誉会員のご紹介

公益社団法人日本助産師会の名誉会員は、兵庫県では現在、稲垣よしゑ先生と川口芳子先生のお二人です。

稲垣よしゑ先生は、兵庫県の副支部長を3期連続で歴任、叙勲（勲六等宝冠章）や数々の受賞をされています。

川口芳子先生は、本部の役員歴を3期、兵庫県の支部長を3期、副支部長は1期を歴任、叙勲（旭日双光章）や数々の受賞をされています。そして、現在も現役でご活躍されています。

今後とも、末永く助産師会へのご指導をよろしくお願いいたします。



稲垣よしゑ先生



川口芳子先生

## 新入会員のご紹介

保健指導部会	勤務助産師部会	
佐藤安妃（保健・神戸）	玉川由香（勤務・阪神北）	西尾澄恵（勤務・東播磨）
岡垣裕美（保健・淡路）	田原万希恵（勤務・神戸）	中野裕子（勤務・中播磨）
下平ちひろ（保健・阪神南）	鈴木則子（勤務・神戸）	

会員総数352人（平成29年2月現在）まだ入会されていない方に入会をお勧めください

ぜひ出席してください！



### 平成29年度 定時社員総会

日時：平成29年5月14日(日)  
10:00～（予定）

場所：兵庫県学校厚生会館

### 編集後記

今回、このとり通信を会の活動や会員の顔が見えるような内容へ若干リニューアルしました。じっくり読んでいただきたい内容や会員の情報は紙面で、刻々と入ってくる情報の発信や研修会の報告など、タイムリーな内容はHPでと、それぞれの強みを活かした情報発信を工夫してまいりたいと思います。会員の皆様からの広報に関するご意見・ご要望をお待ちしています。

広報委員長 谷川 裕子

今回のこのとり通信は、担当理事：小坂 広報委員：谷川、奥、金川、佐治、山下 でお届けしました！